

区政のお知らせ・131号・昭和37年8月20日・足立区役所

台風になえて

去る8月3日、西新井橋下荒川区営運動場において東京都災害対策本部総合防災訓練が行われました。これに参加した機関は、都本隊各部、足立区支隊、荒川区支隊、陸・海上自衛隊協力隊、および東京ガスで、この日出動した各隊員は約2,000名の多きにのぼり、酷暑のな

かを実戦さながらの訓練を展開、予想以上の成果を納めました。この訓練は、関係防災機関が協力体制をより緊密にし、あわせて都民の災害に対する心がまえをPRするために行なわれたものであります。



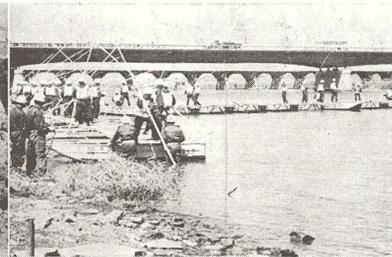
① 東京都災害対策本部足立区支隊の本部が仮設され、支隊長(区長)も訓練の指揮をとり、実際の災害にそなえた。



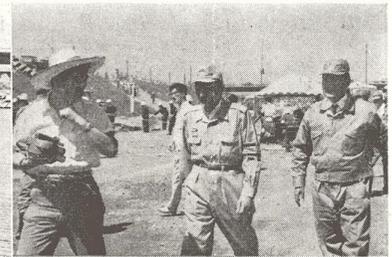
② 堤防危うし、決壊にそなえて、水防団(消防署員)はただちに現場に急行、土俵をつみ洪水をふせぐ。



③ 土俵も新型があらわれ、布製あり、紙製あり、従来の俵と競走してその効果をたしかめた。写真は紙製の土俵。



④ 橋が流され、対岸に残された人々を救うため警視庁機動隊は舟で橋をかける。まるで工兵隊のようだ。実際の時は濁流渦まくなかで非常に危険。



⑤ 東都知事も隊員を激励、陣頭に立つ。知事には、1千万の都民を災害から護る重大な責任がある。



⑥ 緊急避難命令が発令され、町にサイレンが鳴りひびく。住民は保安部員や町会役員の指導で安全なところへ避難する。



⑦ 避難所が開設された。あの旗の下に避難所がある。



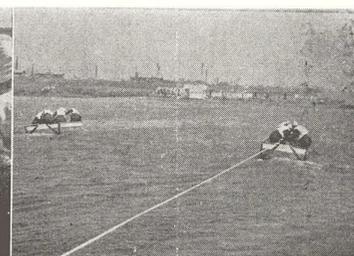
⑧ 避難所では他人に迷惑をかけないように気を付け、係員の指示を守らなければならない。



⑨ 水がきた! 避難者に飲料水が配給される。洪水のなかで水を運ぶのは大変だ。各人水筒は必ず持って避難しよう。



⑩ 野外炊はん、避難者にビニール袋入りの日の丸弁当が配給される。袋へ米と水と梅干を入れて炊いてしまう。(後方は応急住宅)



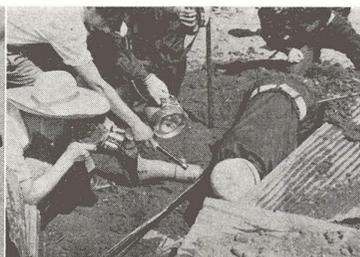
⑪ とりのこされた人がいる。危険だ! それッ! 人命救助に舟は急ぐ、速い速い力強い消防部の活躍。



⑫ 空から自衛隊も出動する。ケガした人を救出、救急車がかけつけすぐに救急病院へ。自衛隊では、空から救援物資も落下傘で投下する。



⑬ 屋根で助けを呼んでいる。ヘリはみごとこの人をつり上げた。



⑭ 家屋が倒れ、人が埋まってしまった。保安部員はただちに救出作業開始、人が見えた。水を与え元気づける。ガンバレ



⑮ 倒壊家屋から救出された人はケガをしている。応急手当を急ぐ。



⑯ 川から海上自衛隊が食糧や医薬品を運んでくれた。伊勢湾台風の時活躍した上陸用舟艇だ。この舟で被災者を移動させることも出来る。



⑰ ずらりと並んだ車輛の群れ、ガッチリ腕を組み、災害から住民を護ろう! みんなが協力すれば災害は少しでもふせげる。

